

近江楽座

まち・むら・くらしふれあい工舎



滋賀県立大学

STUDENT FARM 2008

地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する

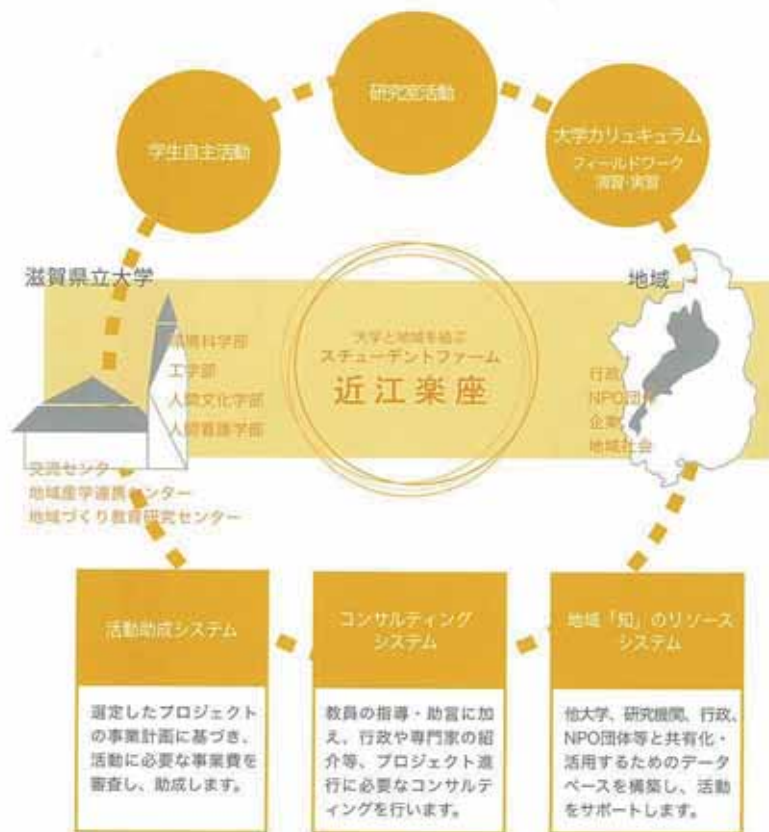


近江春産イメージキャラクター
マイミー

もくじ	02	05	いかして民家?
サポートシステム/プロジェクトマップ	03	06	稲枝Cotton Project <small>NEW</small>
Aプロジェクト紹介	05	07	犬上川竹林プロジェクト
		08	エコキャンパスプロジェクト木楽部会
		09	近江中山道百彩プロジェクト <small>NEW</small>
		10	Oumi Food Project
		11	限界集落の村おこし
		12	信・楽・人・field gallery project
		13	市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾
		14	障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト
		15	ソーラーベロタクシー <small>NEW</small>
		16	Taga-Town-Project
Bプロジェクト紹介	25	17	とよさと快蔵プロジェクト
学生委員会について	26	18	菜の花エネルギー
過去のプロジェクト一覧	27	19	発信基地in朽木の森
活動成果物紹介	29	20	彦根人力舎ー彦根地場産業発信計画ー <small>NEW</small>
		21	「もったいない帳」を用いたスローライフプロジェクト <small>NEW</small>
		22	八日市屋台プロジェクト(プロジェクトYY)
		23	Living Design 12th FASHION SHOW
		24	Let's複合
		25	木之本楽座
			長浜楽座 <small>NEW</small>
			Area + Design <small>NEW</small>

● スチューデントファーム「近江楽座」とは

滋賀県立大学の「スチューデントファーム「近江楽座」—まち・くらしふれあい工舎」は、2004年度の文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）に採択された教育プログラムです。本学では、開学以来、「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」を理念に、滋賀という地域との関わりを重視しており、地域を対象とする演習、フィールドワーク、研究活動等が活発に行われてきました。こうした実績を土台にしながら、「近江楽座」では、学生が主体となって地域活性化に貢献する活動を行うプロジェクトを学内公募し、選定するとともに、選ばれたプロジェクトに対しては、活動費の助成、専門家のアドバイスなど様々な支援が受けられる仕組みになっています。



● 教育効果を高め、大学と地域の連携を深めます

学生が地域へ出て活動することで、地域社会の仕組みに対する正しい理解、問題発見の能力、問題解決に対する行動力、合意形成をはじめとする人とのコミュニケーション能力などを向上させる教育面での効果があります。また、大学の持つ知的資源や学生のパワーを生かしながら、大学と地域の連携を深め、地域活性化に貢献する大学としての役割も果たしています。

● さらに進化する近江楽座

現代GPとしての取組を終えた、翌2007年度からは、大学独自の取組としてより一層パワーアップした活動が展開できるよう充実を図っています。また、同年度より、「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を行う従来の取組を継承した「Aプロジェクト」に加え、新たに、自治体や企業等から提示された課題について、学生主体のプロジェクトチームを結成して活動する「Bプロジェクト」の試みが始まっています。

● Aプロジェクト

「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を支援するものです。2007年度より、これまでの継続活動を対象とした「継続プロジェクト」、新規活動を対象とした「新規プロジェクト」という二つの区分を設けて募集し、公開プレゼンテーション及び審査を経て、採択されたプロジェクトです。

● Bプロジェクト

自治体や企業等から提示された課題について、「近江楽座」として取り組むテーマを設定し、学生主体のプロジェクトチームより企画提案を求めます(プロポーザル方式)。今年の課題は『湖北地域の古民家で田舎暮らしをするための移住などを支援する活動』『高島市における若者が輝くまちづくり調査活動』です。





いかして民家？

古民家の調査、評価、そして再生へ

私たちは、彦根市及び近江八幡市を中心に、古民家などの地域の伝統的建造物を再評価すると共に、それらを活用した地域活性化の手法を探ることを目的として活動します。2008年度は、昨年に引き続き、存続の危機に瀕している伝統的建造物の実測調査基礎資料の収集や、伝統的建造物の整備に取り組みます。また、伝統的建造物の公開イベントの実施やホームページでの情報の発信を通じて、より多くの人々に「古民家の再生」について理解を深めてもらいたいと思っています。さらに、それらのイベント参加者や地域住民に対する意識調査など踏まえ、住民参加による伝統建造物の活用について模索していきます。

TEAM：古民家楽座

代表：仁科美香(人間文化学部)

活動場所：彦根市内

滋賀県内(近江八幡市、多賀町)

指導教員：石川慎治、浜崎一志、市川秀之
(人間文化学部)

関係団体：NPO法人彦根景観フォーラム



彦根遊び博では、町歩きツアーとして、七曲がりを行いました。



磯島家公開イベント、参加者は興味津々で辻番所から外を覗いています。

◎スケジュール

- | | |
|-----|-------------------------------|
| 7月 | 八幡堀：石垣継続調査
辻番所：実測調査、庭の発掘調査 |
| 8月 | 旧村岸部：民具調査・整備
一圓邸：実測調査 |
| 9月 | 兵四桜：イベント開催 |
| 10月 | 旧村岸部：町家公開イベント |
| 11月 | 一圓邸：公開イベント開催 |

稲枝 Cotton Project



地域に根ざした綿花栽培の復興

彦根市稲枝町本庄地域の綿花栽培は、現在、後継者不足や資金不足など様々な課題を抱えています。本プロジェクトでは、地元住民や「みずの郷いなか体験さわ」と連携しながら、若い労働力と染織の学術・技術的な知識といった専門性を活かし、綿花栽培の復興を支援します。活動の初年度となる今年度は、放置田畑を利用した綿花の栽培や糸づくり、染色などの取り組みを通じて、自然素材の製造過程や先人達の知恵や手作業を学びます。また、それらの各作業を地元小学生の体験学習講座として実施し、地域に根ざした綿花栽培の技術と文化を未来に伝えることを目指します。



畑を耕して畝(綿花の種をまくスジ)を作っています



綿花の苗を畑に定植したところ、9月中旬に収穫を予定しています

TEAM : Cotton Project

代表 : 若崎史子(人間文化学部)

活動場所 : 彦根市内(本庄町、柳川)

関係団体 : みずほの郷いなか体験さわ

指導教員 : 道明美保子(人間文化学部)

◎スケジュール

- 4月 打ち合わせ
畑の土づくり
- 5月 綿花の種植え、苗作り(上中旬)
- 7月 民具作り、修繕(～9月)
- 9月 綿花の収穫(中旬)
- 10月 糸作り(収穫から随時)
- 11月 作品制作
- 1月 報告書作成

※年間を過ぎたの予定

地元の人たちと会議(月2回)

市内小学校の体験学習(不定期)

犬上川竹林プロジェクト



竹の魅力、大発見！

私たちは、大学の北東部を流れる犬上川の河辺林を、地域住民と協力しながら継続的に維持・管理していくことを目的として活動しています。これまで4年間の活動の成果として景観や防災的にも問題のあった竹藪を、明るく親しみやすい環境へと改善することができました。今年度は、これまでの定期的な竹林整備活動や竹炭づくり、河辺林の生物調査などに加え、病院や学校など地域住民を対象に、竹や自然と親しむことを目的とした体験イベントや交流会を行います。これらを通じて、自然素材としての竹の素晴らしさを伝えるとともに、地域住民の自主的な河辺林整備を促進します。

TEAM：エコキャンパスプロジェクト

代表：井上太樹（環境科学部）

活動場所：大学、彦根市内

関係団体：犬上川を豊かにする会

指導教員：野間直彦（環境科学部）

黒田末壽（人間文化学部）

URL：<http://www.shc.usp.ac.jp/ecocampus/index>



◎スケジュール

- 6月 タケノコ取り
- 7月 たけともクラブ（七夕祭りの飾りとり）
- 11月 炭焼き
- 12月 たけともクラブ（門松作り）
- 2月 炭焼き

※年間を通しての予定

定例活動（毎月第三土曜）

自治会と会議（不定期）



エコキャンパスプロジェクト木楽部会

さらく 木楽に木作業

私たちは、木などの自然素材を使ったものづくりを通じ、ものを作る楽しさや難しさ、大切さを学ぶと同時に、地元産の間伐材等の積極的な活用について模索することを目的に活動しています。活動5年目となった今年度は、造形活動拠点である木作業施設「もくれん」を拠点に、自然素材を使った家具や小物「木楽ブランド」の製作・展示に取り組みます。また、新たに、木工教室や近江八幡での出張ワークショップを企画・実施し、これまでの活動を広く地域へ展開していきます。年代や性別を問わず誰もが気軽に楽しめる木作業を通じて、地産池消への理解を含め、環境への意識の向上を目指します。



活動拠点である「もくれん」にある道具を整理するための棚を製作



加工の前には、材に野書き（目印付け）を行います

TEAM：エコキャンパスプロジェクト木楽部会
代表：田口真太郎(環境科学部)
活動場所：大学(造形活動拠点「もくれん」)
関係団体：大津山林組合
指導教員：松岡拓公雄(環境科学部)
山根周(人間文化学部)

URL：<http://plaza.rakuten.co.jp/kirakuokiraku>

◎スケジュール

- | | |
|-----|------------------------------------|
| 4月 | 壁塗り体験
地域から依頼の棚の設計 |
| 5月 | 石寺エコ民家改修の手伝い
製材体験・勉強会
竹テント製作 |
| 6月 | 夏湖風景にて木の小物販売
ゴミ箱製作
近江環人に参加 |
| 7月 | 「もくれん」整備
道具のメンテナンス勉強会 |
| 8月 | 土壁塗りワークショップ |
| 9月 | 過去の成果物のメンテナンス |
| 10月 | 開校 |
| 11月 | 親子ものづくりワークショップ |
| 12月 | 「もくれん」整備ワークショップ |
| 1月 | 地域に向けた木工教室 |
| 2月 | 報告書作成 |
| 3月 | 活動報告会 |
- ※年間を通しての予定
もくの日(毎週水曜、定期活動日)
地域の親子ものづくり塾に参加(不定期)

近江中山道百彩プロジェクト



中山道を赤く彩る

地域住民がそれぞれの家の軒先に赤いものを飾り、町の色付けを行う「百彩」。2005年度より、中山道宿場町に暮らす地域住民の街並みへの意識付けや、地域の主体性の確立などを目的として、彦根市高宮地区で継続して実施してきました。(*) 今年度は、ややマンネリ化しつつある現状を打破するべく、メインとなる町の色付けに加え、写真展の開催などの新たな試みにチャレンジします。また、同地区でのこれまでの実績や経験を活かしながら、新たに鳥居本地区での開催を企画し、点から線へと、中山道宿場町全体の地域活性化へとつなげるための第一歩を踏み出します。

* 2005～2007年度は、「C3」が開催。



2007年度の高宮での百彩の祭りにデンドン屋もきて盛り上がりました



イベントで赤く染まった街並、各家の飾り付けはその家の住人が自らの手で自由に飾り付けます

TEAM：百彩

代表：松尾清(環境科学部)

活動場所：彦根市内(高宮町・鳥居本町)

関係団体：ふるさと鳥居本を学ぶ会

近江中山道を楽しむ会

指導教員：近藤隆二郎(環境科学部)

URL：<http://hyakusa06.shiga-saku.net/>

◎スケジュール

- 7月 高宮町説明会
- 8月 百彩in高宮
- 9月 鳥居本町説明会
- 10月 百彩in鳥居本
- 11月 写真集作成
- 12月 写真集配布
- 1月 報告書作成

※年間を通しての予定

高宮夏祭り実行委員会例会(月数回)

近江中山道を楽しむ会例会(第一木曜)

Oumi Food Project



オウミフード (Food×風土)

本プロジェクトは、食生活を専攻する学生らが中心となり、「食」という観点から彦根市を元気にするための活動を行っています。発足一年目であった2007年度は、地元産の食材を使った「近江牛バーガー」の商品開発と屋台販売を中心に活動しました。今年度は、彦根市内の橋本商店街にある「いこう館」を活動拠点とし、これまで調理・加工過程で廃棄されていた食材や、地元産の食材を使ったオリジナル和菓子の開発や、料理教室や講演会などの食育活動に取り組みます。学生ならではの視点と専門性を活かし、「食」を通じて、学生と地域、地域住民同士をつなぐ「いいいの場」を提供します。



好評だったエビス講での近江牛バーガー販売風景



いこう館のお披露目会ではプレートの手作りランチを提供しました

TEAM : Oumi Food Project

代表 : 青木麻美(人間文化学部)

活動場所 : 彦根市内

指導教員 : 瀧本知恵、佐々木一孝

田中敬子、岡本秀巳、

浦部貴美子(人間文化学部)

URL : <http://syokunomise.youkumachi.com/>

◎スケジュール

6月	説明会(12日)
6.7月	商店街との連携作り 地域住民のニーズ調査 和菓子計画
9月	カフェ運営(10回)
10月	↓
11月	↓
12月	↓
1月	↓
2月	↓
3月	報告書作成

限界集落の村おこし



茅葺民家の再生

現在、彦根市多賀町周辺にある16の限界集落のうち、11集落が消滅の危機に瀕しています。私たちは、昭和40年代の面影を残す限界集落「彦根市男鬼地域」をフィールドに、これまで自然環境や地域文化財などの基礎的調査や、茅葺き民家の保存・活用のための活動に取り組んできました。5年目となる今年度は、これまでの成果を活かして、屋根の一面の葺き替えを試みると共に、茅場の手入れなどを継続して行います。また、新たに男鬼付近の限界集落にも活動範囲を拡げて、現況把握と問題点の整理を行いながら、限界集落のさらなる有効な活用方法について探ります。

TEAM：男鬼楽座

代表：古田修一朗(人間文化学部)

活動場所：彦根市内、滋賀県内

指導教員：濱崎一志、石川慎治

武田俊輔、市川秀之(人間文化学部)

野間直彦(環境科学部)

URL：<http://www.shc.usp.ac.jp/hamazaki/aboutteam/oori/oori.html>



職人さんの指導のもと、屋根の補修を行いました
壊れている場所に新しい茅を差し込みます



実際に屋根に登り、新築の茅葺き民家の屋根を葺いています

◎スケジュール

- | | |
|-----|-----------------|
| 6月 | 茅運び
男鬼通信作成 |
| | イベント参加 (28、29日) |
| 10月 | 屋根の葺き替え視察 (美山) |
| 12月 | 茅刈り |
| 1月 | 報告書作成 |
| 2月 | 男鬼通信作成 |



信・楽・人- field gallery project

信楽フィールドギャラリー

本プロジェクトは、「Field Gallery Project」をテーマに、信楽のまちに潜む地域の魅力を再発見・再構築し、まちをギャラリーのように楽しみ・驚き・発見してもらえるような場所にすることを目的として活動しています。今年度は、「Field Gallery」を実践していくための土台となる、フィールドサーベイ(現地調査)に取り組みます。また、昨年改装したギャラリー「shiroiro-ie」を活用した、ギャラリー改装記録の写真展や、「食と陶器」をテーマにしたイベントの開催を通して、地域との交流や新たな信楽の魅力を創造する契機を作ります。

TEAM：信・楽・人- field gallery project

代表：石野啓太(環境科学研究科)

活動場所：滋賀県内(甲賀市)

関係団体：歌徳のWa

指導教員：印南比呂志(人間文化学部)

URL：<http://sigarakipr.exblog.jp/>



2Fの作業風景、不安定な足場の中、真っ白になりながらベンキを塗りました



改装後、白い内部と茶色の床のコントラストがきれいな空間に

◎スケジュール

- | | |
|-----|----------------------|
| 5月 | shiroiro-ie 庭作業(～7月) |
| 7月 | shiroiro-ie 改装記録集作成 |
| 8月 | shiroiro-ie 写真展 |
| 9月 | 信楽フィールドサーベイ開始 |
| 10月 | 「食を通して陶器を考える」 vol.1 |
| 1月 | 「食を通して陶器を考える」 vol.2 |
| 3月 | 春イベント準備(インсталレーション) |

市民および医療に携わる人々との ふれあいを通して志向する未来看護塾



未来の看護のあり方を志向する

私たちは、人間看護学部所属する学生らが中心となり、地域住民や医療現場で働く方々と交流しながら、看護における対人関係の意義を学ぶことを目的に活動しています。これまでの4年間の活動を通じて得ることができた、医療や看護に対する多様な地域のニーズに対し、今年も彦根市立病院小児病棟等での「定期的なボランティア活動、湖風祭への「子ども広場」の出展、長寿会での健康支援活動などに取り組みます。学生ならではの視点で地域を捉えながら、人が人として生きていくための生き方を支える「未来の看護のあり方」について模索していきます。



彦根市立病院でのクリスマス会では、歌や出し物で患者さんと笑顔で交流



長寿会での健康支援活動では、健康に関する意識の向上や異なる世代と交流する機会を提供しています

TEAM：未来看護塾

代表：甲津江理(人間看護学部)

活動場所：彦根市内

関係団体：彦根市立病院

指導教員：豊田久美子、伊丹君和(人間看護学部)

◎スケジュール

- 7月 長寿会などでの健康支援活動
- 8月 ↓
- 11月 湖風祭への「子ども広場」の出展
- 12月 彦根市立病院小児病棟でクリスマス会

※年間を通しての予定

定期的なボランティア↓

- 彦根市立病院小児病棟(週1～2回)
- 緩和ケア病棟(月1回)
- ぽぽハウス(週1回)
- ぽぽクラブ(週1回)
- ハビネスひこね(月1～2回)
- 緩和ケア病棟でレクリエーション
- 地域や医療関係の方とミーティング
- ぽぽハウスのイベント参加
- キッズフェスティバルに参加



障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト

自立支援×共生

甲良養護学校に通う子ども達の家族やその支援者などからなる「NPO法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー」の活動支援を目的として、自閉症などの障がいを持った子ども達の余暇活動支援や、彼らと地域との交流支援を行っています。今年度は、これまで続けてきた粘土工作などの定例活動や、宿泊体験などに加え、生き物と触れ合う乗馬体験にチャレンジしたり、活動の広報に力を入れていきます。ハンディを抱えた子ども達やその関係者だけではなく、「地域との交流」を大切にしながら、障がいの有無に関係なく誰もが住みやすい地域社会の実現を目指します。

TEAM：ボランティアサークルHarmony
 代表：佐藤友紀(人間文化学部)
 活動場所：大学(カルチャールーム等) 彦根市内
 関係団体：NPO法人
 障害者の就労と余暇を考える会メロディー
 指導教員：黒田末壽、竹下秀子(人間文化学部)



クリスマスコンサートの後に、滋賀県立大学の元気会と一緒にもちつきをしました



定例活動の一つであるお茶会は、先生になってお茶を点てます

○スケジュール

- 4月 説明会(14～16日)
- 5月 新入生歓迎会(10日)
- 8月 お泊り会(9～10日)
- 11月 クリスマスコンサート(予定)

※年間を通しての予定

- 定例会議(第一土曜)
- 定例活動(第四土曜)



ソーラーペロタクシー

ソーラー×ペロタクシー

2007年より彦根市内で運行されている自転車タクシー。主に人力によって動くこの“ペロタクシー”には、坂道などのために電動アシストシステムが搭載されています。私たちは二酸化炭素(CO2)を出さない環境にやさしい太陽電池を使って、その充電を行う「ソーラーペロタクシー」を開発し、それを普及させることを目的として活動します。初年度となる今年度は、主にペロタクシーへの太陽電池の設置とともに、電力やCO2の削減量の測定と検証を行います。こうした活動を通じて、環境に調和したエネルギー源である太陽電池についてアピールし、エネルギー環境問題への関心を高めていきます。



ペロタクシーへの太陽電池の応用を検討しています



彦根にて、ペロタクシーと太陽電池とメンバー

TEAM：ソーラーハンター

代表：元吉良輔(工学研究科)

活動場所：彦根市内

関係団体：特定非営利活動法人五環生活

指導教員：奥健夫、鈴木厚志(工学部)

近藤隆二郎(環境科学部)

URL：<http://www.mat.usp.ac.jp/materials-evaluation/solar-v.htm>

◎スケジュール

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 6月 | 予算事業書の修正
太陽電池会社との交渉 |
| 7月 | 電気系統についての研修
ソーラーペロの設計図作成 |
| 8月 | 電気機器の取り付け |
| 9月 | ソーラーペロタクシー試運転 |
| 10月 | 彦根市内に運用 |
| 11月 | びわ湖環境ビジネスメッセ(5,6,7) |
| 12月 | 改善点の検討 |
| 1月 | 報告書作成 |
| ※年間を通しての予定
活動報告会(毎月第一金曜) | |

Taga-Town-Project



ものづくりでまちづくり

私たちは、多賀・湖東地域をフィールドに、町が抱えるニーズや課題について地域と共に考え、取り組みながら、元気で個性あるまちを作ることを目的に活動しています。建築デザインを学ぶ学生が中心となった本プロジェクトでは、これまで、地元間伐材を活用した休憩所の整備や、地元の万灯祭への企画・参加などに継続して取り組んできました。今年度は、「まち」によるまちづくりの実現を目指して、活動のプロセスや成果などの「情報発信」に重点的に取り組みます。まちづくりをテーマにしたホームページなどからの情報発信を通じて、より多くの地元住民を巻き込みながら、多賀のまちづくりを盛り上げます。



2008年度万灯祭のための、住民の方との行灯作りワークショップ



多賀大社前駅前の間伐材を利用した観光案内の製作をしました

TEAM : Taga-Town-Project

代表 : 稲葉結実(環境科学部)

活動場所 : 滋賀県内 (多賀町)

関係団体 : 多賀商工会

指導教員 : 山根周(人間文化学部)

松岡拓公(環境科学部)

URL : <http://ttp.cho-chin.com/>

◎スケジュール

- | | |
|----|----------------------------------------------------------------------|
| 4月 | 説明会(14,17日) |
| 5月 | 万灯祭打ち合わせ |
| 6月 | まちあるき(1日)、勉強会(14日)
プロジェクトHP,ブログ作成
まちづくりHP作成
万灯祭あんどんづくり(28日) |
| 8月 | 万灯(3,4,5日)
万灯祭反省会 |
| 1月 | 報告書作成
共栄会空き地プロジェクト |

とよさと快蔵プロジェクト



とよさと快蔵！

私たちは、高齢化や若者の町外への流出などに悩む豊郷町を楽しく活気ある町へと蘇らせることを目的に、古民家などの改修や、イベントの実施などに取り組んでいます。これまで、利用されなくなった町内の7件の古民家や空き蔵をコミュニティハウスやバーへ改修し、活用してきました。5年目を迎える今年度は、個々の物件ではなく、町内でも比較的古い町並みの残る愛知神社付近の"通り"を対象として、ハード面、ソフト面の整備を行う長期計画に着手します。古民家などを利用したカフェやギャラリーなどを設置し、それらを通して町内外の人々と交流しながら、豊郷町をより魅力的な町へと変貌させます。



滋賀県立大学出身の左官職人さんの指導のもと、磯部邸改修時に壁塗りワークショップを行いました



豊郷町のお祭りであるコスモスパンキンフェスタで、子供を対象としたイベントを企画をしています

TEAM：とよさと改蔵プロジェクト

代表：横山耕蔵(環境科学部)

活動場所：滋賀県内(犬上郡豊郷町)

関係団体：NPO法人とよさとまちづくり委員会

指導教員：迫田正美(環境科学部)

URL：<http://www.kaizo-hp.com/>

<http://toyotoyo.wablog.com/>

<http://tartaruga.atukan.com/>

◎スケジュール

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| 4月 | とよさとまちあるき(26日) |
| 5月 | ソフトボール大会(11日)
カロム大会 N豊郷(25日) |
| 6月 | 社長改修コンペ(22日)
ビーチバレーボール大会(29日) |
| 7月 | 社長改修開始 |
| 8月 | とっと祭り(10日)
どろんこまつり N吉田(31日) |
| 10月 | 健康フェスタ |
| 11月 | コスモス・パンキンフェスタ |
| 12月 | オータムフェスタ |
| 1月 | オープンハウス |
| 3月 | 卒業コンサート |

※年間を通しての予定

改修作業(コンペ終了後毎週末)

まちづくり会議(毎月第三水曜)



菜の花エネルギー

エコな燃料を開発

私たちは、資源循環型地域の実現を目標に、「菜の花バイオディーゼル燃料」を用いたエネルギー環境教育に取り組んでいます。これまで、廃食用油の回収会や、菜種油の家庭での利用促進、それらの廃食油の燃料化などを実施してきました。今年度は、昨年度に引き続き、湖風祭や小中高等学校におけるエネルギー教育講座の開催や、湖東町のイルミネーションイベント「コトナリエ」への燃料提供などを行います。また、昨年度から取り組んでいる休耕田での菜の花栽培では、地域住民らに菜種油の搾取と利用、廃食油の燃料化など一連のサイクルを体験してもらいながら、エネルギーに対する理解の向上を目指します。

TEAM：菜の花エネルギー

代表：井川達朗(工学研究科)

活動場所：大学(工学部棟)

関係団体：菜の花プロジェクトネットワーク

指導教員：山根浩二、河崎遼(工学部)



地元の高校生たちと、廃食油からBDFを作る実験を行いました



菜の花学会では、BDFカートの試乗会を実施

◎スケジュール

- 6月 菜種の刈り取り(16日)
- 7月 菜種の搾油
- 8月 コトナリエ(9～16日)
高犬連携授業(19, 20日)
- 9月 土壌作り&種まき
- 11月 湖風祭(7～9日)

発信基地in朽木の森



朽木から地域の情報発信！！

私たちは、2004年度より、高島市朽木地区をフィールドに、学生という視点や立場から地域の魅力を引き出し、活かすことを目的に、聞き書き集や広報誌の作成などの様々な活動に取り組んできました。今年度は、多数ある朽木の魅力のうちの一つ、“お年寄りの語り”に着目します。お年寄りへの聞き取りから、日常では語られなくなりつつある、地域に根付いた“知恵”や“文化”を引き出し、それらを紙芝居や絵本として作成します。これらの活動を通して、地域におけるお年寄りの存在意義を再認識すると共に、お年寄りが持つ地域を豊かにする可能性を、朽木地域内外に向けて発信していきます。

TEAM：くつきチーム

代表：鈴木宏健(人間文化学部)

活動場所：温泉泉内(高島市朽木)

関係団体：高島市教育委員会

指導教員：黒田来壽、武邑尚彦(人間文化学部)



特別養護老人ホームやまゆりの里で行われた盆踊りにメンバーも招待していただきました



朽木の自然の豊かさや、そこに暮らす人々の魅力を伝えていきたい

◎スケジュール

6月	聞き取り調査
7月	↓
8月	↓
9月	↓
10月	↓
11月	絵本と紙芝居の製作作業
12月	↓
1月	絵本の発行 紙芝居の発表
2月	地域に作品の反応を還元

※年間を通しての予定

メンバー打ち合わせ



彦根人力舎－彦根地場産業発信計画－

デザインを通して地場産業の復活へ

彦根市には、古くから仏壇製作や縫製などの地場産業が存在しているものの、現代の日常生活ではそれらと触れ合う機会がほとんどありません。私たちは、これらの地場産業に対する認知度・親近感を高め、彦根の地域ブランド形成をバックアップすることを目的として活動します。活動の初年度となる2008年度は、仏壇産業と織維産業の技術を応用しながら、自転車生活をすすめる会が取り組む「彦根力車開発プロジェクト」で製作された「自転車力車」の改良に取り組めます。さらに、これらのイメージ調査を行いながら、デザインの分野から、「地場産業に対する認知度・親近感の向上」を探っていきます。



木を使って実寸のモックアップモデル製作中



地場産業に携わる方達と議論をしながら試作は続きます

TEAM：リキシャ

代表：黒田靖史(人間文化学研究所)

活動場所：彦根市内

関係団体：芥橋研究室

指導教員：印南比呂志、面矢慎介(人間文化学部)

URL：<http://rikiseri.exblog.jp/>

◎スケジュール

- | | |
|-----|----------------|
| 4月 | モックアップモデル設計 |
| 5月 | モックアップモデル作成 |
| 6月 | モックアップモデル検討 |
| 7月 | 1/1スケール試作開始 |
| 8月 | 試作品検討、試乗会 |
| 9月 | 細部検討、製作 |
| 10月 | 完成品の試乗会、印象度調査 |
| 11月 | 長浜環境メッセに出展 |
| 12月 | 印象度調査分析、細部の再検討 |
| 1月 | リキシャ周辺商品の企画 |
| 2月 | 地域ブランド認定への活動 |
| 3月 | 活動報告書作成 |

「もったいない帳」を用いたスローライフプロジェクト



もったいない帳から地域を読み解く

私たちの日々の生活にあふれる“もったいない”。私たちは、環境家計簿や彦根市が提唱する環境チェックシートに代わり、誰もがより簡単に取り組むことができる「もったいない帳」を用いて、環境負荷の低い生活環境の形成を目指して活動します。彦根城などの歴史的資源や琵琶湖などの自然環境、彦根市のリサイクル状況などに対する市民の日々の“もったいない”を調査・分析することにより、彦根市の地域特性を活かした、彦根市ならではのエコライフスタイルを提唱します。こうした地域特性に応じた生活の見直しの積み重ねにより、新たな環境文化を創成し、将来的な視点での地域活性化へとつなげていきます。

TEAM: もったいないプロジェクト
 代表: 中小田貴之(環境科学部)
 活動場所: 彦根市内
 関係団体: 彦根市生活環境課
 リサイクルステーション
 指導教員: 近藤隆二郎、香川雄一(環境科学部)
 URL: <http://mottainai.shiga-saku.net/>



◎スケジュール

- | | |
|-----|-------------------------|
| 6月 | 彦根市生活環境課と打ち合わせ |
| 7月 | コクヨ工業滋賀に協力依頼、システム作成 |
| 8月 | 広報ひこね等で記録者を募集(1日) 記録の収集 |
| 9月 | 記録の収集 |
| 10月 | 行動体系のまとめ |
| 12月 | フィードバック |



八日市屋台プロジェクト

屋台から始まるまちづくり

私たちは、八日市中心市街地の街の再生を目標に、地域の既存イベントへの参加・協力やまちに残されている歴史的・自然的要素や各種機能や人材などの「地域資源」の調査などに取り組んでいます。2008年度は、昨年度の調査から明らかになった地域資源の情報を元に住民らと共に、まちの魅力を伝える「地域リソースマップ」の作成に取り組みます。さらに建築や服飾、食生活など近江楽座の他のプロジェクトらと連携しながら、新たに屋台を作成し、地域のイベントなどを盛上げます。また、これらの取り組みを恒常的かつ継続的なものにするために、空き物件を改装したまちづくり活動の拠点整備を進めます。

TEAM：わいわい楽座

代表：依田知大(人間文化学研究所)

活動場所：滋賀県内(東近江市八日市)

関係団体：ほない会

指導教員：布野修司(環境科学部)

山根周(人間文化学研究所)



7月の妖怪祭に、メイク・衣装体験イベントを盛り上げました



11月の二五八祭では、生活デザインの学生制作の屋台を出店

◎スケジュール

6月 街マップづくり

8月 街マップの公開

10月 活動拠点整備

11月 二五八祭り

2月 報告書作成

※年間を通しての予定

ほない会と会議(不定期)

Living Design 12th FASHION SHOW



地域密着型 FASHION SHOW

昨年で11年目を迎えた「ファッションショー」。これまで、ショーだけではなく、ショーの服の展示や服に使用した生地を紹介を通して、豊かな滋賀の繊維産業を私たち自身が学ぶ活動と同時に、滋賀の地に住む市民の方々に地域産業を知っていただく場を提供しました。今年度は、地域や会場との“交流”や“一体”テーマに、地域の素材を身近に感じてもらうためのワークショップや、観客と一体となれるようなショーを開催します。“生活デザイン”という、暮らしの中のあらゆるモノを幅広く学んでいる私たちならではの視点で、地域の人々とより一体となって楽しめる空間や時間をデザインしていきます。



滋賀県立大学の学園祭である湖風祭での FASHION SHOWのステージ



制作した服やその制作過程、地元繊維産業などを紹介した「スーパーパンフレット(写真集)」

TEAM : Living Design 12th

代表 : 杉森香苗(人間文化学部)

活動場所 : 大学、彦根市内、滋賀県内

指導教員 : 森下あおい、道明美保子

(人間文化学部)

◎スケジュール

5月	構成会議 スポンサー獲得作業 ショーイメージの決定
6月	繊維勉強会
7月	布会社への訪問開始 布整理 服作り開始
8月	彦根ばやし総おどりへの参加 第1回ワークショップ
9月	服・小物作り 舞台製作
10月	Viva City Fashion Show参加 第2回ワークショップ
11月	湖風祭Fashion Show 展示会 第3回ワークショップ 写真撮影会
12月	スーパーパンフレット・DVD制作

※年間を通しての予定
町のイベントへの参加(内容・日程、検討中)

Let's複合



プラスチック廃棄物をランターに

私たちは、一般の家庭から排出されるプラスチック廃棄物95%でできたりサイクル・ランターを製造し、その商品化に向けての研究や普及活動に取り組んでいます。2007年度に、量販店でのランター販売という目標を達成し、今年度は、活動の集大成である「滋賀県発プラスチック系廃棄物完全循環システムの構築」に向けて、これまでの県外産に代わる県内のプラスチック廃棄物を原料にしたランターの製作を試みます。また、小学校への園芸用ランターとしてのリサイクル・ランターの配布や環境出張講座などを通して、環境問題に対する意識を高めていきます。

TEAM：廃棄物バスターズ
 代表：田中良祐(工学研究科)
 活動場所：大学、彦根市内
 関係団体：上西産業株式会社
 指導教員：徳義勝久(工学部)



ランター販売に向けての、工場での最終チェックに立ち会いました



どうとう販売までこぎつけたリサイクル・ランター

◎スケジュール

- 6月 日本青年会議所での発表(28日)
- 7月 小学校へ配布&環境授業
- 10月 プランター(彦根版)の販売
- 12月 全国大学生環境活動コンテストに参加

01 木之本楽座（昨年度より継続）

空き民家の調査・活用と 都市農村交流事業の企画・実施

空き民家の活用と都市農村交流

現在、滋賀県湖北地域では、少子高齢化や過疎化による地域衰退に起因する空き家の増加や空き家の解体が進んでいます。一方、都市住民の間で田舎暮らしへの関心が高まりつつあるものの、そのきっかけづくりや情報発信などがまだ十分とは言えない状況にあります。私たちは、昨年度に引き続き、北国街道木之本町の中山間地域において、地域資源や空き家調査を実施し、空き家情報のデータベース化を進めます。また、これらの空き民家を活用した田舎暮らし体験プログラムを企画・実施し地域活性化へつなげていきます。



都市住民を対象にした田舎暮らし体験プログラム

TEAM：木之本楽座
代表：翠勇樹(人間文化学部)
関係団体：滋賀県総務部自治振興課
木之本町
活動場所：滋賀県内(木之本町)

02 長浜楽座

古民家での田舎暮らし 体験プログラムの企画、実施

古民家での田舎暮らし

長浜市中心市街地では、黒壁事業などにより商業や観光の活性化が進む一方で、居住人口の伸び悩みや高齢化の進展、空き家の増加、古民家の解体に伴う歴史的景観の喪失などが問題となっています。私たちは、古民家や水路網などの長浜の歴史的景観を構成する要素の保存や活用を進めながら、緩やかな地域活性化を図ることを目的として活動します。地域住民や都市住民を対象に、実際に町家に触れ、まちなか居住を体験できるイベントを実施し、地域の空き家を活用しながら、地域再生・活性化への足がかりを探ります。



町家に触れ、体験できるイベントを企画

TEAM：長浜楽座
代表：福島志帆(人間文化学部)
関係団体：滋賀県総務部自治振興課
長浜市商工会議所
活動場所：滋賀県内(長浜市)

03 Area + Design

高島における若者の 生活スタイルに関する調査および発信活動

若者定住のまちづくり

少子高齢化が進展する高島市において、持続可能な地域社会の運営のための若者の定住促進が喫緊の課題となっています。私たちは、高島市独自の地域性・風土・環境と若者のライフスタイルのつながりに着目しながら若者へヒアリング調査を行い、その分析によって高島市の可能性を探っていきます。また、それらを元に若者定住を目的としたPR媒体の制作に取り組みます。高島の可能性について、若者である学生ならではの視点で掘り起こしながら、若者の未来に向けた、高島の地域特性を生かした生活スタイルを検討します。



柳川地区での聞き取り調査

TEAM : Area + Design

代表 : 杉林久美子(人間文化学研究所)

関係団体 : 高島市企画部政策調整課

活動場所 : 滋賀県内(高島市)



近江楽座学生委員会

代表 : 中野 優 (環境科学研究所)

近江楽座をさらに推進していくことを目的に、プロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成されました。チーム間の交流・連携を目的として、毎月20の定例交流会の開催や、活動紹介冊子やニュースレターの発行など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学部や学科、プロジェクトの枠を超えた活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワーク形成を目指します。

2004

1. 吾川村下名地区地域活性化事業 ドラマ下名
2. 上丹生地域アイデンティティ計画 職人塾「上丹生」
3. Q+ ACT (Q 庄)
4. 保案グランドデザイン調査開発事業 マニフェスト信来
5. 下着関連新製品開発デザイン事業 F.U.I 彦根
6. 「土戸のある家」の保存と活用 日牟礼楽座
7. 市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾 未来看護塾
8. 社会資本としての集住体プロジェクト ちーむ はっけい
9. 障害児・者自立支援・共生社会づくりプロジェクト ボランティアサークル Harmony
10. 逸形活動拠点の形成と展開プロジェクト エコキャンパスプロジェクト木楽部会
11. Taga-Town-Project 木匠塾
12. 竹林プロジェクト エコキャンパスプロジェクト生き物部会
13. 「土戸のある町家」の保存と活用 七曲がり楽座
14. 伝統創作仏壇デザイン開発事業 彦根仏壇デザインチーム
15. とよさと快蔵プロジェクト とよさと快蔵プロジェクト
16. 中山道コンシェルジュ養成プロジェクト C3 (Community Concierge Consultant)
17. Nio Project (内湖に調和した環境提案) Nio (Naioku in Occupation) Project
18. 鹿村「男鬼」の村おこし 男鬼楽座
19. 初めての農家―農の現場で学ぶ学生プロジェクト チーム農しん
20. 発信基地 in 高島郡 KTT
21. BIWAKO ビエンナーレ実行委員会 BIWAKO ビエンナーレ実行委員会
22. 三津・海潮町土地利用計画 RE CULTIVATOR (再耕築する者)
23. リバーウォッチング in 安曇川 滋賀県立大学地域学研究室
24. わっしょい湖東 (湖東地域広域観光デザインプロジェクト) 木匠塾

2005

1. 吾川村下名地区地域活性化事業 ドラマ下名II
2. 「土戸のある家」の保存と活用 日牟礼楽座
3. 市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾 未来看護塾
4. 社会資本としての集住体プロジェクト ちーむ はっけい
5. おきくら エコキャンパスプロジェクト木楽部会
6. Taga-Town-Project 木匠塾
7. 犬上川竹林プロジェクト エコキャンパスプロジェクト生き物部会
8. 「土戸のある町家」の保存と活用 七曲がり楽座
9. とよさと快蔵プロジェクト とよさと快蔵プロジェクト
10. 中山道コンシェルジュ養成プロジェクト C3 (Community Concierge Consultant)
11. 鹿村「男鬼」の村おこし 男鬼楽座
12. 発信基地 in 朽木の森 KTT
13. BIWAKO ビエンナーレ実行委員会 BIWAKO ビエンナーレ実行委員会
14. 三津・海潮町土地利用計画 RE CULTIVATOR (再耕築するものたち)
15. リバーウォッチング in 安曇川 滋賀県立大学地域学研究室
16. あいせい田んぼの生き物プロジェクト あいせい田んぼの生き物プロジェクト
17. いっそ磯 いっそ磯
18. 福こう八坂生活絵巻！地域の「排帯博物館」プロジェクト-2nd stage 耳の会
19. 愛知川甕新生プロジェクト 新生愛知川甕
20. 環境フェスタ in 坂王 PS (ピース)
21. 再興湖東焼プロモーション事業 UTSUJAWA
22. 菜の花エネルギー教育ネットワークの構築 菜の花エネルギー
23. ニューススポーツとまちづくりプロジェクト NEW Spozza CLUB
24. 農村エコツアー〜知農考察〜 けもの SOS
25. 琵琶湖の今と昔 水辺塾
26. Let's 複合 産物バスターズ

2006

1. アートフォーラム 2006…環境とアートのまちづくり in 近江八幡
アートフォーラム 2006 実行委員会: 幹
2. いかして民家? 古民家楽座
3. 犬上川竹林プロジェクト エコキャンパスプロジェクト生き物部会
4. エコキャンパスプロジェクト木楽部会 エコキャンパスプロジェクト木楽部会
5. コノマチ助隊 ACT Q 座
6. 再興湖東地プロモーション事業 UTSUWAD
7. 山村「男鬼」の村おこし 男鬼楽座
8. 市民および医者に携わる人々とのふれあいを通じて志向する未来看護塾 未来看護塾
9. 社会資本としての集住体プロジェクト ちーむ はっけい
10. 障害児・者、自立支援・共生社会プロジェクト ボランティアサークル Harmony
11. TTP+ (Taga-Town-Project+) 木匠塾
12. とよさと快蔵プロジェクト とよさと快蔵プロジェクト
13. 中山道コンシェルジュ養成プロジェクト C3 (Community Concierge Consultant)
14. 菜の花エネルギーネットワーク 菜の花エネルギー
15. 発信基地 in 朽木の森 くつきチーム
16. ひこねブランド ユニットL・P
17. ヒコネベロタクシープロジェクト 輪ダチ (わだち)
18. Fashion show 生活デザイン専攻3回
19. リバーウォッチング in 安曇川 滋賀県立大学地域学研究室
20. Let's 複合 鹿野物バスターズ

2007

Aプロジェクト

1. いかして民家? 古民家楽座
2. 犬上川竹林プロジェクト エコキャンパスプロジェクト
3. エコキャンパスプロジェクト木楽部会 エコキャンパスプロジェクト木楽部会
4. Oumi Food Project Oumi Food Project
5. 限界集落の村おこし 男鬼楽座
6. 再興湖東地プロモーション事業 UTSUWAD
7. 信・斎・人-shigaraki field gallery project 信楽人
8. 市民および医者に携わる人々とのふれあいを通じて志向する未来看護塾 未来看護塾
9. 障害児・者、自立支援・共生社会プロジェクト ボランティアサークル Harmony
10. Taga-Town-Project+ TTP+
11. ツナギ創造プロジェクト C3 (Community Concierge Consultant)
12. とよさと快蔵プロジェクト とよさと快蔵プロジェクト
13. 菜の花エネルギー 菜の花エネルギー
14. 発信基地 in 朽木の森 くつきチーム
15. 人と自然を繋げる会 エコキャンパスプロジェクト
16. 八日市屋台プロジェクト (プロジェクト YY) わいらい楽座
17. Living Design Fashion Show Living Design 11th
18. Let's 複合 鹿野物バスターズ

Bプロジェクト

1. 情報発信ツールの企画・制作 近江楽座学生委員会
2. 地域と連携したモニター・ツアー (お試し居住) の企画実施 古民人
3. 地域と連携したモニター・ツアー (お試し居住) の企画実施 木之本楽座



過去のプロジェクト成果物紹介 2004-2007

過去の近江楽座のプロジェクト、近江楽座学生委員会、近江楽座事務局が作成した冊子・リーフレットの一部をご紹介します。

詳しくは楽座文庫 (<http://ohmirakuza.net/books/>) へ!



私たちの思い

キャンパスは琵琶湖、テキストは人間

広大な湖を取り巻く豊かな自然に囲まれて
私達は大学生活を送っています

そんな生活の中で、ふと思うことがあります

本当に豊かな環境、本当に豊かな人間とは・・・

その答えを地域に求めて

私達はこれからも活動が続けます



発行：近江楽座事務局
近江楽座学生会委員会
編集：近江楽座学生会委員会編集部
(船田賢、田辺智英、大橋弘明、稲葉結実)

問い合わせ先：滋賀県立大学地域づくり教育研究センター
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
TEL：0749-28-8612 FAX：0749-28-8473
E-mail：info@ohmirakuza.net



<http://ohmirakuza.net/>